

日本放送協会 理事会議事録

(平成27年 1月27日開催分)

平成27年 2月13日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成27年 1月27日(火) 午前9時00分～9時25分

<出席者>

靱井会長、堂元副会長、塚田専務理事、吉国専務理事、石田専務理事、
板野専務理事、木田理事、福井理事、下川理事、森永理事、井上理事、
浜田技師長
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

靱井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 平成26年度第3四半期業務報告

2 報告事項

(1) 考査報告

(2) 非現用不動産の売却について

(3) 契約・収納活動の状況(平成26年12月末)

(4) 地方放送番組審議会委員の任期途中の退任について

議事経過

1 審議事項

(1) 平成26年度第3四半期業務報告

(経営企画局)

放送法第39条第3項に定める会長の職務の執行状況を、「平成26(2014)年度第3四半期業務報告」(注)のとおり取りまとめましたので、審議をお願いします。

まず、「今期の概況」について説明します。

「平成24～26年度 NHK経営計画」で目指した機能強化の設備整備はほぼ完了し、実施体制の整備や訓練強化などを一層進めました。気象情報を分かりやすくCGで表現する装置やIP中継装置など、整備した設備を、台風18・19号や長野県北部地震などの災害・減災報道で活用しました。第47回衆議院議員総選挙の報道では、有権者の判断に資するニュースや番組と、迅速な開票速報で公共放送の使命を果たしました。

番組では、10月開始の新番組や特集番組を中心に高い評価を得ました。連続テレビ小説「マッサン」と大河ドラマ「軍師官兵衛」が高視聴率を維持し、第65回NHK紅白歌合戦「歌おう。おおみそかは全員参加で!」は、20代女性など若い世代の視聴を広げました。また、8Kスーパーハイビジョンのライブパブリックビューイングを「大相撲九州場所」などで実施し、周知活動に力を入れました。

営業では、公開競争入札による法人への契約収納業務委託の拡大などを進め、契約総数・衛星契約の増加は堅調に推移しています。各地の放送局では、イベントや公開収録などを通じて、受信料制度の理解促進活動を積極的に実施しました。

次に、営業目標の達成状況と収支概況について説明します。

第3四半期も、前期に引き続き、契約総数増加・衛星契約増加とも堅調に推移しました。年間増加目標に対する進捗率は、好調だった前年同期とほぼ同水準の業績を確保しています。契約総数は第3四半期で17.0万件増加し、12月末累計で50.7万件の増加となり、年間増加目標の49万件を超えました。目標に対する進捗率は103.5%となってい

ます。衛星契約は、21.0万件増加し、12月末累計は67.3万件となりました。年間増加目標68万件に対する進捗率は99.0%となり、前年度を上回る進捗率を確保しています。3か年経営計画の総仕上げとして、3年連続全目標達成に向けて引き続き営業活動の一層の強化に取り組んでいきます。

12月末の収支の状況は、事業収入が5,048億円(予算進捗率76.1%)、事業支出が4,789億円(予算進捗率73.2%)となり、事業収支差金は258億円となりました。受信料収入は、契約収納活動の強化に取り組んだことにより標準進捗率を上回り(予算進捗率76.0%)、4,882億円となりました。事業支出は、衆議院議員総選挙の放送実施による支出などがあったものの、全体としては標準進捗率を下回りました。

以上の内容が決定されれば、本日開催の第1229回経営委員会に報告事項として提出します。

(会長) 原案どおり決定し、本日の経営委員会に報告します。

注:「平成26(2014)年度第3四半期業務報告」は、NHKホームページの「経営情報」のなかに掲載しています。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

平成26年12月22日から27年1月20日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース13項目、番組38本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、フランスの新聞社襲撃など一連のテロで17人が犠牲となったこと、襲撃された新聞社がイスラム教預言者の風刺画を再び掲載し、表現の自由などを巡って波紋が広がっていること、理化学研究所の調査委員会が、STAP細胞ができたとする論文を否定し、別の万能細胞であるES細胞が故意に混入されていた疑いが拭えないとする調査結果を発表したこと、政府が閣議決定した27年度予算案

の一般会計の規模が過去最大となることなどがありました。

番組では、歌手51組が熱唱した、第65回NHK紅白歌合戦「歌おう。おおみそかは全員参加で！」(12月31日放送)、震災後20年目の現実と課題を伝える2回シリーズで、解明途上の研究を通して地震の新たな知見と警告を伝えた、NHKスペシャル シリーズ阪神・淡路大震災20年 第2回「都市直下地震 20年目の警告」(1月18日放送)、タモリさんがぶらりと街を歩き、独自の視点で知られざる魅力を発掘する番組の3年ぶりの登場で、激動の時代を乗り越えてきた京都の巨大プロジェクトの跡を訪ねた、ブラタモリ「京都」(総合テレビ 1月6日放送)、松下村塾で多くの志士を育てた吉田松陰の妹を主人公に、その家族や仲間たちが生きた激動の時代を描く、大河ドラマ「花燃ゆ」の第1・2回(1月4日、11日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」の「NEWSLINE」3項目と番組1本の考査を実施しました。安倍首相の年頭会見を中継し、戦後70年の今年夏に発表する「総理大臣談話」の方向性などを伝えた「NEWSLINE」(日本時間1月5日放送分)や、日本のカワイイ系ファッションを世界に発信する番組で、おそろいのファッションを楽しむ「双子コーデ」を取り上げた、Kawaii International「Kawaii Twin Style」(日本時間1月4日放送)です。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(2) 非現用不動産の売却について

(経理局)

非現用不動産の売却について、報告します。

東京都目黒区の平町第1寮の建物付き土地247.73㎡について、一般競争入札を行った結果、売却先を日匠建設株式会社に決定し、平成26年12月22日付で売買契約を締結しました。売却価額は、1億4,309万8,000円で、不動産鑑定機関による評価額を上回る金額での売却となります。

本件は、本日開催の第1229回経営委員会に報告します。

(3) 契約・収納活動の状況（平成26年12月末）

(営業局)

平成26年12月末の契約・収納活動の状況について報告します。

まず、12月の当年度分受信料収納額は499.9億円で、前年同時期を8.6億円上回りました。年間累計は4,740.1億円となり、前年同時期より107.2億円の増収となっています。

前年度分回収額は2.3億円で、前年同時期と同水準となっています。年間累計は50.9億円と、前年同時期を2.1億円下回っています。前々年度以前分回収額は2.6億円で、前年同時期を0.7億円下回り、年間累計も24.7億円と、前年同時期を4.5億円下回っています。

次に、12月の受信契約総数の増加状況は、取次数が21.9万件と前年同時期を1.3万件下回りましたが、減少数も19.5万件と前年同時期を0.3万件下回ったため、増加数は前年同時期を1.0万件下回る2.4万件となりました。年間累計増加数は50.7万件となり、前年同時期を1.8万件下回っています。

衛星契約数の増加状況は、取次数が14.7万件と前年同時期を0.2万件上回った一方、減少数も7.7万件と前年同時期を0.4万件上回ったため、増加数は前年同時期を0.2万件下回る7.0万件となりました。年間累計増加数は67.3万件となり、前年同時期を0.9万件上回っています。

最後に、12月の口座・クレジットカード支払い等の増加数は0.8万件で、前年同時期を2.1万件下回りました。年間累計増加数は58.2万件となり、前年同時期を4.5万件下回っています。

本件は、本日開催の第1229回経営委員会に報告します。

(4) 地方放送番組審議会委員の任期途中の退任について

(木田理事)

地方放送番組審議会委員の任期途中の退任について、報告します。

中国地方の江種則貴氏（中国新聞社 論説主幹）は、本人の申し出により、任期途中の平成27年1月31日付で退任されます。

本件は、本日開催の第1229回経営委員会に報告します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成27年 2月10日

会 長 粂 井 勝 人